



東京都立八王子南特別支援学校
校長 山崎 裕之

令和8年度 東京都立八王子南特別支援学校 学校経営計画

本校は社会に根差したウェルビーイングの向上を目指すことを基本とし、東京都教育委員会が平成29年2月に策定した東京都特別支援教育推進計画（第二期）・第一次実施計画の基本理念である「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸ばして、社会に参加・貢献できる人間を育成」の実現のため次のような学校を目指していく。

I 目指す学校像

「人権尊重を基盤とした一人一人を大切に作る学校」

- 教職員の知的障害教育に関する専門性を高め、生徒の力を伸ばし、自立と社会参加を実現する。
- 普通科と職能開発科併設による重層的なキャリア教育・職業教育の推進と就労支援・進路指導を充実する。
- 地域の高等教育機関や企業等との連携を図り、芸術教育・ものづくり教育を充実する。

〈学校教育目標〉

- (1) 主体的に学びに向かう態度を育てる。
- (2) 自ら考え、判断し、表現する力を育てる。
- (3) 社会に貢献し、役立つための力や働く力を育てる。

Ⅱ 中期的目標と方策（令和6～8年度）

開校直近3年間を「学校教育基盤整備期」と捉え、中期的目標及び方策を以下に定める。

(1) 目標及び方策

目標1：人権を尊重した教育及び相談支援体制の充実

方策1：特別なニーズをもつ生徒の人権を最大限に尊重し、真摯に相談支援できるように、スクールカウンセラー等と連携し全教職員の資質向上を図る。また、培った相談支援の専門性を地域支援に最大限活用できるように体制を充実させる。

目標2：外部機関及び外部の専門家を活用した専門性の向上

方策2：実績のある外部の専門家等を招聘し、専門性に基づく諸実践や業務ノウハウを共有できるシステムを構築し、培った指導の専門性や関係業務の遂行方法を組織として蓄積できるようにする。

目標3：学習シラバス・年間指導計画に基づいた教科等指導の充実

方策3：個人の経験と勘に頼らず指導できるように、学習指導要領に基づき、学習シラバスや単元計画等の指導計画を作成し共有できる仕組みを構築する。合わせて、若手教員等が今後の指導と学校運営を担えるように指導計画の蓄積やシステム整備を進め、効率的に継承できるようにする。

目標4：学校の組織的運営と働き方改革に資する職務の効率化

方策4：業務の見直し及び会議の簡略化等により効率化を目指したシステム改善を推進する。教職員の育児休業、介護休暇取得など、それぞれのライフステージに合わせたライフ・ワーク・バランスを推進する。

目標5：安心・安全な教育環境の整備

方策5：防災・防犯のための物品や設備の整備・充実させるとともに、生徒の健全育成や防災体制の整備等に向けて地域との連携を構築し、生徒の安全・安心の確保に努める。

目標6：個人情報適切な管理及び事故ゼロを目指した体制の構築

方策6：校舎内外の安全点検及び教職員のクリーンデスクを徹底するとともに、万一の事故を教訓とした再発防止策を講じる。合わせて、不適切な指導、体罰、性暴力、ハラスメント、サービス事故を絶対に起こさない。

Ⅲ 令和8年度の取組目標と方策

(1) 学習指導

NO	具体的な取り組み及び目標(成果の指標)	
1	取組	個別指導計画等に基づいた個々に応じた適切な指導の実施
	目標	学校評価での肯定的意見 80 パーセント以上
2	取組	ICT 機器及び一人一台端末を適切に活用した指導の実施
	目標	教員一人 1 回 ICT 機器活用の授業案作成、指導の実施
3	取組	特別専門講師、外部専門員を活用した職業教育の充実 (主に作業学習、職業に関する専門教科)
	目標	学校評価での肯定的意見 80 パーセント以上

(2) 進路指導

NO	具体的な取り組み及び目標(成果の指標)	
1	取組	進路学習、現場実習、進路相談を通じた、全卒業生の希望進路の実現
	目標	卒業生全員の希望進路先の決定 100%
2	取組	労働機関、福祉機関と連携した連携事業所の確保
	目標	実習等協力事業所を 50 事業所以上確保
3	取組	外部人材を活用した保護者会等における保護者への情報提供の充実
	目標	進路関係の保護者への情報提供年 3 回以上
4	取組	移行支援計画に基づく卒業生の追指導の計画の充実
	目標	希望者の移行支援会議 100%実施

(3) 生活指導

NO	具体的な取り組み及び目標(成果の指標)	
1	取組	いじめに関する研修の実施とアンケートやS C等を活用したいじめの早期発見と対応
	目標	未解決いじめ案件 0
2	取組	不登校や中途退学の未然防止及び関係機関と連携した対応の実施
	目標	不登校による退学者 0
3	取組	特別活動での SOS の出し方の指導の実施及び、保護者への相談先の周知による自死案件の未然防止
	目標	自死案件 0
4	取組	挨拶の励行と生徒の呼称、言葉遣いの徹底及び人権に関する教職員研修の実施
	目標	不適切な指導による事故やトラブル 0

5	取組	スクールバス運行会社と連携したスクールバスの安全な運行
	目標	スクールバス連絡会年3回実施、スクールバス取り残し事故0

(4) 特別活動等

NO	具体的な取り組み及び目標(成果の指標)	
1	取組	特別活動や行事を通じた学校の一体感の醸成
	目標	学校評価での肯定的意見 80 パーセント以上
2	取組	日常的な指導や体育的行事等を通じた体力増進や健康づくり
	目標	学校評価での肯定的意見 80 パーセント以上
3	取組	特別活動等を活用した E S D (持続可能な開発のための教育) に関連する活動の実施
	目標	関連活動の実施 3 回以上
4	取組	校内展示の充実と定期的な入れ替え
	目標	展示場所の新たな設定と年 3 回以上の入れ替え
5	取組	地域と連携した総合防災訓練の実施と危機管理計画の充実
	目標	総合防災訓練の実施と危機管理計画の見直しの実施

(5) 学校経営

NO	具体的な取り組み及び目標(成果の指標)	
1	取組	サービス事故防止研修の実施と教職員倫理規定に基づくサービス規律の徹底
	目標	サービス事故 0
2	取組	経営企画室と教員が連携した円滑な会計処理の実施
	目標	学校事務に関する事故 0
3	取組	教職員の健康診断の確実な実施とメンタルヘルスケアのための指導医相談の適切な実施
	目標	健康診断の実施率 100%
4	取組	定時退庁日等の実施による全教職員の時間外在校等時間の縮減
	目標	全教職員の平均時間外在校等時間 30 時間/月以下

(6) 広報活動

NO	具体的な取り組み及び目標(成果の指標)	
1	取組	南大沢学園と連携した職能開発科を中心とした学科説明会の実施
	目標	学科説明会 15 回以上実施
2	取組	広報活動の実施による職能開発科の出願者の確保
	目標	最終応募倍率 1.5 倍以上
3	取組	学校ホームページ、SNS を活用した学校情報の発信
	目標	ホームページ、SNS の更新回数 300 回以上

